

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>taisyo Kusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年10月29日(火) 第168号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

現・退一致して連携を確認

**連合と退職
 者連合三役
 が顔合わせ**

10月22日(火)午後1時から、連合本部8階特別応接室で連合の古賀申明会長、神津里季生事務局長と退職者連合の阿部保吉会長以下三役・事務局とが懇談しました。退職者連合は7月の定期総会、連合は10月



△左から羽山治美事務局長、臼井副会長、阿部会長。

△古賀会長(左から3人目)、神津事務局長(左から2人目)



△左奥から福田副会長、和田副会長、川島副会長、菅井次長。手前は連合古賀会長と神津事務局長。

の定期大会で新しい執行部体制になったため、この日が初めての顔合わせとなりました。20分間の懇談では、今後とも連合と退職者連合がしっかり連携していくことが確認されました。退職者連合からは、阿部会長のほか福田利久副会長、川島靖副会長、臼井百合子副会長、和田正副会長、羽山治美事務局長、菅井義夫事務局次長、林道寛事務局次長の7人が出席しました。

第1回組織強化委員会

「組織の強化」に向け 取り組みの具体化へ

地域の代表が新たに参加

10月22日午前、連合本部3階第一会議室で2013年度第1回組織強化委員会が開かれました。会議では初めに和田正副会長(UAゼンセンシニア友の会)を委員長に互選。また下記の通り、委員を確認しました。なお、今回から2人の地域代表が参加することになりました。

<組織強化委員会の委員>

福田利久副会長(自治退)、臼井百合子副会長(全国退女教)、川島靖副会長(郵政退協)、和田正副会長(UAゼンセンシニア友の会)、宮崎安基幹事(東京高退連)、池田捷治幹事(神

奈川シニア連合)。また連合からは、新しく組織拡大・組織対策局の倉永誠史局長と滝沢弘部長がオブザーバーとして参加することになりました。事務局は、羽山治美事務局長、菅井義夫事務局次長、林道寛事務局次長の3人です。

会議日程と検討内容

<第1回委員会>

①日時 10月22日(火) 11:00～
②テーマ 「第1次アクションプラン」の中間まとめ

<第2回委員会>

①日時 12月10日(火) 13:30～
②テーマ 地域組織・運動の強化に向けて・その1「連合生涯組合員構想」の検証

<第3回委員会>

①日時 3月18日(火) 10:00～
②テーマ 地域組織・運動の強化に向けて・その2 地域ヒアリング先進事例にみる「組織体制と活動内容」

<第4回委員会>

①日時 4月15日(火) 15:00～
②テーマ 地域組織・運動の強化に向けて・その3 ○「退職者連合・地域組織の位置付けと組織整備」
○「2014年組織実態調査」結果の分析とまとめ



△活発な意見交換が行われた第1回組織強化委員会。(22日、連合本部3階)



△連合は第1回組織委員会を開催。「1000万連合実現」に向けた今後2年間の取り組み方針を確認しました。(10月18日、連合本部3階AB会議室)

(写真左)組織委員会には、退職者連合から和田副会長(手前中央)、菅井事務局次長(手前左)と林事務局次長の3人が出席。

合意づくりと基盤整備進む

委員会では、第1次アクションプランの中間まとめとして2012年8月～2013年6月まで前半の取り組みを総括。まず中央・地方組織において組織拡大に向け積極的に合意形成が図られてきていること、2つ目として「組織拡大推進委員会」の設置と担当者の配置が図られるなど、基盤の整備が取り組まれたことを確認しました。

組織拡大へキックオフ

これを踏まえ、2013年8月～2014年6月までの後半の取り組みについては、「中央・地方での行動の開始」と位置付け、組織拡大推進委員会を軸に活動をスタートさせること。具体的には①拡大目標の設定②「現退対話行動」のさらなる推進③「組織拡大アクションプラン」の実践などを確認しました。

○報告○

連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会

世界遺産 姫路城を歩こう

～不戦の城を訪ねて～

南から北から
お達者だよ!

1,613人 (80歳以上150人) が参加

連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会は、10月21日(月)、さわやかな秋晴れの下“世界遺産姫路城を歩こう～不戦の城を訪ねて～”と名打ったハイキングを実施しました。この催しはブロック内の各退職者組織が毎年持ち回りで開いているもの。今年は姫路城を中心に約2キロをみんなで散策しました。出

発会場となった兵庫県姫路市の大手前公園には、150人の80歳以上の方を含む、近畿ブロックの退職者組織の会員1,613人が集まりました。午前11時から始まった出発式では、近畿ブロック退連を代表して三ツ木宣武代表幹事が主催者あいさつ。来賓として連合兵庫の森本洋平会長、石見利勝姫路市長、近畿労金の若山忠義



参加費は一人500円。各自思い思いの服装で参加した。(21日、姫路市)



姫路城の人気マスコットキャラクター「官兵衛くん」も参加

本部長、全労済の酒井行雄本部長がそれぞれあいさつをしました。各府県退職者組織代表の紹介の後、80歳以上の参加者の方への表彰と記念品贈呈がありました。

30分間の出発式の後、参加者は二手に分かれ姫路城内堀周回コースを散策し、ゆったりと秋の一日を楽しみました。(写

真上)

連合兵庫青年委員会 40人がサポート

このビックなハイキングを成功させようと連合兵庫青年委員会のメンバー40人も応援ボランティアとして参加。まさに現・退一致でハイキングが実施されました。

なお、近畿労金・全労済から参加者全員に記念品「スクリュウボトル」と「姫路城特製タオル」が進呈されました。

各地で開かれた高齢者集会

9月15日に開かれた2013全国高齢者集会に合わせて、全国各地で高齢者集会が開かれました。4県から報告がありましたので、ご紹介します。

2013 山形県高齢者集会



山形県高退連<2013年山形県高齢者集会>

9月6日(金) 大手門パルズ3F。参加200人。集会は、実行委員会を代表して伊藤実行委員長のあいさつ、来賓として連合山形大泉会長から連帯のあいさつを受けた。続いて、樋口事務局長が基調報告を行い、全体でアピールを採択し、「全国集会」の参加者10人が紹介された。集会記念として最上義光没後400年記念として「鳥瞰図で語る合戦風景と郷土発展の望み」と題して最上義光歴史館サポーターの松本芳雄氏(写真)から講演を受けた。



宮城高退連合<2013宮城県高齢者集会>

9月12日(木)、仙台市福祉プラザふれあいホール。参加200人。主催者あいさつで東海林利雄会長は「今こそ平和なくして社会保障なしを再確認し、憲法9条を擁護し、96条改正・憲法解釈改憲など改憲阻止のたたかいと安心と信頼の社会保障制度確立を目指す活動を強化しよう」とあいさつした。アトラクションでは、安田智彦ビックバンドが懐かしのメロディーを演奏した(写真)。



連合奈良高退協 <第8回高齢者集会>

10月1日(火)、奈良商工会議所5Fホール。参加102人。主催者あいさつで松尾清会長は「民主党はガバナンスの欠如と東日本大震災、原発事故対応、不用意な消費税発言等から国民の信頼を大きく失った結果、衆参の選挙で惨敗した。健全な野党、国民政党として立て直しに奮起して欲しい」とのべ、また消費税増税について「社会保障と一体のものであり今なお制度の全体像が見えないことに我々は納得できない」と強調。「要求実現へ現・退一線で積極的な活動を行う」とあいさつした。



連合滋賀高退協<2013滋賀県高齢者集会>

10月12日(土)、滋賀ビル。参加86人。主催者あいさつで山森正副会長は、アベノミクスや社会保障と税の一体改革について安倍政権を批判。「高齢者が今こそ声を上げ、行動を起こそう」と訴えた。